
図書館だより

内容

No.82 **ぽれぽれ**

- ◇巻頭言 理学療法学専攻 室井先生
- ◇リレーエッセイ 作業療法学専攻 藤田先生
- ◇おすすめの本の紹介 歯科衛生学科 栗原先生
- ◇図書館サービス紹介

千葉県立保健医療大学図書館

2022. 4. 1

巻頭言

図書館を活用して確かな情報を手に入れる力を

リハビリテーション学科理学療法学専攻 室井大佑 先生

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

いよいよ大学生活がスタートしました。それと同時に医療従事者として、すでにスタートラインに立ったこととなります。皆さんはご存じの通り、COVID-19のような新たな病気に対して、検査体制、入院治療や予防接種など、医療が日々進化していることを耳にしていると思います。現代において、様々な情報はインターネットを通じて簡単に手に入るようになりましたが、医療者として確かな情報を手にするにはどうしたら良いのでしょうか？

答えは簡単で、最新の論文や書籍を読むことです。レビュー論文や書籍は知識の集大成です。まずは、新たな病気に対する様々な基礎研究や臨床研究が実施され、それらの研究成果を統括する形でレビュー論文や書籍となります。したがって、気軽に自分の意見を述べられるインターネットの情報とは異なり、厳密な審査のもと、世に出版されることとなります。医療従事者のスタートを切ったということは、これから一生、医学の知識をアップデートし続けなければならない立場になったことを自覚する必要がある、そのためには正しい情報を得る力をつけることを意識しなければなりません。

幸い、本学には幕張キャンパス、仁戸名キャンパス共に立派な図書館があります。そして、図書に対する多額の予算が組まれており、常に新書が手に入る状態となっています。私自身も昨年度から本学に着任して、一番驚いたことは図書が充実していたことでした。また、本学は医療専門職の総合大学であるために、自分の専門分野以外の図書も気軽に手に取ることができることも利点の1つです。自分で購入するまでではないけど、ちょっと読んでみたい、という本は図書館を少し回ってみればすぐに出会えると思います（専門書以外も数多く置いてあります）。

大学4年間は図書館と仲良くして、豊かな知識を身に付け、落ち着いて勉強する場所を確保しておくことを強くお勧めします。皆さんは最終的に、臨床実習を経て、国家試験に合格しなければなりません。国家試験で問われることは、現時点

の医学で分かっている、確かな事実です。繰り返しになりますが、その事実を手に入れるためには、書籍から知識を得る必要があります。古い書籍も確認をして、現在の書籍と何が変化していて、何が変化していないのかを知ることができれば、自分の専門領域が進んでいく方向性についても、おのずと理解することができるでしょう。

最後になりましたが、皆さんの学生生活が豊かになるように、教員や図書館職員はいつでもサポートいたしますので、気軽に声をかけてください。

リレーエッセイ

ひとの文章を読むということ

リハビリテーション学科 作業療法学専攻 藤田佳男 先生

私の知り合いに何人か警察官がおられますが、彼らは「こんなに書類作成が多い仕事だとは知らなかった」とおっしゃられます。確かにドラマでは書類を書いている警察官は殆ど描かれません。一方、われわれ大学教員にとって文章を読むことは必須の技能です。学生が作成するレポートや定期試験、その他大学に関わる大量の書類を読み、限られた時間で処理をしなければなりません。特に学生さんのレポートには色々コメントつけて返してあげたいのはやまやまですが。日々の仕事に追われて採点するのが精いっぱいという科目もあります（みなさん、どうかお許しを）。

ただ、たくさん読んでいると何となく自分の中に一定の型らしきものができるのか、おかしなところに気づくのは早くなってきました。文章の前半で、「ああ、この書き出しなら結論はこんな感じだろうな…」とか「この書きぶりだとこういうエラーがありそうだなあ…」という予測がつくようになります。勿論そのような先入観を持って後半を確認する集中力が低下するのでは良くないですが、確かに10年前と比べると効率は良くなってきました。何事も型が大事、と言いますが、文章を読むのも、ひとつの「認知の型」を持っていることが正確さや素早い判断に寄与できると感じます。

我々医療や福祉に携わる者は、常に最新の情報やエビデンスを用いて対象者にあたるのが要求されると思いますが、臨床現場ではそんな暇はなかなかありません。また、今後も本学が要請する専門職の活躍の場はますます広がり、広範な知識が必要になってくると思われます。

そのために効果的な「認知の型」を作るには、やはり数を経験することが重要かと思えます。臨床場面で生かすには症例報告、支援方針を決めるにはさまざまなガイドラインやマニュアルを限られた時間でタイムプレッシャーを感じながら読んでみることをお勧めします。

おすすめの本の紹介

歯科衛生学科 乗原涼子 先生

① 『歯科なるほどボウケン学』 井上孝 著 デンタルダイヤモンド社 2001年

著者は日本の歯科界を代表し、国際的にも著名である歯科医師 井上孝先生。

剖検・冒険・望見のミステリーなツアー、『歯科なるほどホント学』に続く『なるほど』シリーズ第2弾である本書において導かれます。とにかく面白くわくわくさせられます。興味深い内容に富むため、一度読み始めたらいつのまにか時を忘れてしまいます。将来、世代や社会が変遷を遂げようが、永遠に評価され続けます。知れば知るほど新しい知識の発見が沢山あり素晴らしさを実感させられ、大きな感銘を受ける魅力的な良書です。剖検で遭遇した沢山の場面での姿、幼少期から現在までの軌跡における濃い時間に大きく感動させられます。鋭い視点や分かりやすい説明が随所に多く、医療について奥深くから学ばされます。そのため、医療の本質的な原点をも考えさせられます。

医療専門職の卵である皆さん、著者 井上孝先生と一緒に味わい深い剖検・冒険・望見のミステリーなツアーに参加してみませんか。

おすすめいたします！



② 『思考の整理学』 外山滋比古 著 筑摩書房 1986年

80年代に発刊され、現在も読まれているロングセラーの1冊です。自らの発想を創造し、思考を発展させるためのヒントが多く書かれています。各単元が短く、文章が読みやすいため、飽きずに読み進めることができます。

特に、印象的であった単元のなかに、「忙」の字は、心（りっしんべん）を亡くしていると書く。忙しいと頭が働かなくなってしまう。平常の生活で頭を忙しくしてはいけない。人間は、自然に、頭の中を整理して、忙しくならなくなっている。睡眠である。」という文章があります。自らの思考の黄金時間を構築できるかできないかは、睡眠が如何に重要であることを改めて気づかされました。

思考の整理の方法について参考になる1冊だと思います。



③ 『おじいちゃんとの最後の旅』 ウルフ・スタルク 著 徳間書店 2020年

スウェーデンの児童文学作家ウルフ・スタルク、最後の作品です。病院に入院しているおじいちゃんの願い、それは、亡くなったおばあちゃんとか

つて二人で仲良く暮らしていた家に、死ぬ前に一度でもいいから戻りたい思い。口がかなり悪いがおじいちゃんのことを誰よりも慕う少年が、おじいちゃんと一緒に病院を抜け出す用意周到な計画をしたが、その計画の実現は…。



ひたすらおじいちゃんのことを思う少年の切ない気持ちに心が奪われると同時に、病院を抜け出す計画実行中に遭遇する様々な出合いでの少年の思いや考え、立ちはだかる現実を乗り越えていく少年の勇気ある行動力の姿に特に感動させられます。

人間には、いつか必ず、皆平等に訪れる死。その時間までどのように生き、そしてどのように最期を迎えるのかについて深く考えさせられます。

図書館サービス紹介 ←

漫画コーナー 室井先生も巻頭言で紹介されていましたが、図書館には専門書の他にも実に様々な図書があります。今回は、漫画コーナーの紹介です。

■幕張キャンパス

現代の医者が幕末にタイムスリップ！ドラマ化もされた人気作「JIN-仁-」をはじめ、新米看護師の成長を書いた「おたんこナーズ」。医療系以外にも「スラムダンク」や「火の鳥」といった名作を所蔵しています。



■仁戸名キャンパス

仁戸名キャンパスでは現在「はたらく細胞」の特設展示をしています。また、医療漫画の王道「ブラックジャック」もご用意があります。幕張の「ブラックジャックによろしく」と合わせてどうぞ！



千葉県立保健医療大学

■幕張キャンパス図書館

〒261-0014 千葉市美浜区若葉 2-10-1

TEL.043-272-2987

FAX.043-272-2988

■仁戸名キャンパス図書館

〒260-0801 千葉市中央区仁戸名町 645-1

TEL.043-264-3061

FAX.043-264-3062

